

新教科書の観点別編集の特色

おもな観点	特色
内容 学習指導要領との関連 内容の範囲・程度 内容の選択・扱い・系統性 基礎的・基本的事項の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領の「技術・家庭科の目標及び内容」「技術分野の目標」及び「内容」、「指導計画の作成と内容の取扱い」を踏まえ、「生きる力」を育むために、生徒自らが考え、主体的に学習活動に取り組めるよう配慮して編集しています。 ●学習指導要領の内容A・B・C・Dのそれぞれの内容を互いに関連づけて学習できるように工夫を施しています。 ●社会や自然と共存しながら生きる「持続可能な社会」をつくるために必要な、技術を評価し活用できる能力や態度を育むことができるように配慮しています。
	<ul style="list-style-type: none"> ●中学生の生活経験や発達段階といった実態、授業時数などの学校事情を十分考慮し、柔軟に対応できるよう、内容の範囲や程度を適切に定めています。
	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領に照らし合わせ、適切な題材を選択し、扱っています。 ●生徒の発達段階に合わせた製作題材や実験課題、資料 資料 を取り上げ、関心を持ち意欲的に取り組めるようになっていきます。 ●全体として調和のとれた内容にするため、特定の事象・事項・内容に偏らないようにし、技術を多面的に扱うように配慮しています。
	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎的・基本的な知識や技術が着実に身に付くよう、内容を厳選して的確に記述しています。 ●基礎的・基本的な技術とともに、知識も確実に身につけることができるよう、それぞれの製作工程で用いる技術について、わかりやすく解説しています。 <div style="text-align: right;"> <p>わい化处理</p>  <p>右はわい化处理をしていないもの (▶教科書 p.151 より)</p> </div>
構成 ガイダンス 製作ページ 発展的な学習内容の扱い 他領域・他教科との関連 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ●冒頭に「技術分野で何を学ぶか」というガイダンスにあたる章を設け、中学校3年間での技術分野の学習を概観できるようにしています。 ●技術が日本の文化や伝統を支えてきたことを知らせたり、生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割などについて考えさせたりするため、ガイダンス部分で過去の技術と現在、そして未来の技術を時間軸で結ぶような展開を試みています。 ●江戸時代の「ペリーの予言」や「日本最初のコンピュータ」といった生徒の興味を引きつける内容も盛り込み、幅広い知識と教養が身に付くよう配慮しています。 <div style="text-align: right;"> <p>150年前のペリーの予言 (▶教科書 p.6 より)</p>  </div>
	<ul style="list-style-type: none"> ●製作のページでは、教科書を見てつくることのできるよう、十分なページ数を割り、大きな写真を用いてすべての製作工程をていねいに追っています。
	<ul style="list-style-type: none"> ●楽しみながら学ぶことができ、中学生の興味にあわせて取り組むことができる発展的な学習内容 発展 も取り上げています。
	<ul style="list-style-type: none"> ●各章や各節の導入で、小学校での学習事項や他教科（家庭分野を含む）との関連が一目でわかるように、関連学習 として関連する学習項目を示しています。
	<ul style="list-style-type: none"> ●すべての製作・実習課題はやさしいものから始まり、徐々に難しい内容へ進むようになっています。 ●実習と座学の内容をわかりやすく工夫して配分しており、分量も適切になっています。

おもな観点		特色
構成	言語活動への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●「ストローを使った強度の実験（p.49）」「鉄筋コンクリートの強さを確かめよう（p.80）」など、多くの実験  や実習  を掲載し、生徒たちが実際に体を動かしたり、話し合ったり、考えたりする実践的・体験的な学習活動を通して、コミュニケーション能力を高められるように配慮しました。 ●生徒の身の回りの問題を解決する製品の設計と製作、生物育成計画の立案、フローチャートの作成など、言語活動の充実をはかれる内容を多く掲載しました。  <p style="text-align: center;">ストローを使った強度の実験（▶教科書 p.49 より）</p>
	安全教育への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●製作中の事故を防止するために、安全  に関する配慮や、機器の操作にあたっての注意  を細かくわかりやすい表現で記述しています。
	社会・環境とのかわり	<ul style="list-style-type: none"> ●環境に対する負荷等の観点から、技術を評価することの意義を理解し、主体的に活用する意欲につなげるため、互いに影響を及ぼし合う技術と社会・環境の関係についての学習を深められるように工夫しています。
	各節の導入	<ul style="list-style-type: none"> ●各節の導入文では、生徒の生活との関連を踏まえながらそれぞれの節を学ぶ意義をわかりやすく簡潔な表現でまとめています。
	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●習ったことのまとめができるよう、各章末に「まとめ」と「章末問題」を掲載しています。
表現	文章表記	<ul style="list-style-type: none"> ●簡潔でわかりやすい文章表現になるよう配慮しました。 ●一目でわかるように重要な語句は太字で示し、中学生が自学・自習しやすい工夫を施しています。
	写真・図版	<ul style="list-style-type: none"> ●中学生が教科書を見ながら実際につくることができるよう、以下のように大きな写真を多く使ってすべての製作工程をていねいに説明しています。  <ul style="list-style-type: none"> ●写真で表現しにくい内容については、詳細な図を適切に用いて説明しています。 ●説明図版は中学生の視点を取り入れて作成し、理解しやすくしています。
その他	特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ●導入・図・本文等のレイアウトを固定するなど、特別支援が必要な生徒が学習しやすいように配慮しています。
本のくらし	文字の書体や大きさ、レイアウト	<ul style="list-style-type: none"> ●文字の書体や大きさ、文字組などは適切で、学習展開に配慮して見やすくわかりやすいレイアウトになっています。
	印刷・用紙・カラーバリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> ●全ページ、カラーバリアフリーの観点で配色を確認したカラー刷りで、目に優しく、見やすく仕上がるよう配慮しています。 ●教科特性を考え、表紙には質感を持たせた表面加工を施しました。
	製本	<ul style="list-style-type: none"> ●製本は極めて堅牢で、3年間の使用・持ち歩きにも耐える製本となっています。 ●開いたまま置いて見られる製本で、製作や実習の際にも活用しやすくなっています。